

森林環境譲与税に関する決算状況

事業区分	事業名	事業総額（千円）			事業内容	実績	税導入の効果
		(A)+(B)	(A)うち令和元年度の森林環境譲与税（千円）	(B)うち他の財源（千円）			
⑱ 基金積立（木材利用等）	森林環境整備基金	1,772	1,772	0	令和5年度（2023年度）に、町内に点在する公共施設を集約した複合施設の建設を計画しており、当該施設の一部木質化に充てるため55,000千円程経費が必要であり、本事業に備え全額を積立。	全額基金積立	<p>【ワンフリーズ】</p> <p>・町のシンボリックな建築物となる公共施設に木材を利用することで、木目や木の肌触りなど木のぬくもりを感じられる心地の良い空間が創出される。公共施設は多くの住民が利用し、人々が集う場所であることから、木材を利用することで人と環境にやさしい公共施設として町民へ木材の特性を広め、さらには森林への理解を深めることが期待される。</p> <p>【詳細】</p> <p>当町は、2023年2月から7月を工期予定とした、中央市街地に点在する公共施設を集約化する複合施設の建設事業を計画しており、その一部を木質化にするための経費として55,000千円計上している。そのため、本税を森林環境整備基金に積み立て事業に必要な経費として充当している。この複合施設の木質化を実現することにより、断熱性や遮炎性、遮熱性、遮音性などの複合的な効果が期待できる。また、木の表面をそのまま見せることで、木目や木の肌触りなど木のぬくもりを感じる心地の良い空間を創出することが出来る。さらに、木材は持続可能な循環型資源であることから、森林資源を有効活用した省CO2型の施設が建てられる。こうした一連のメリットや効果を期待し、住民に複合施設の木質化による還元を計画している。また、公共施設はPR効果が高いことから、施設建設にあたり、木材を積極的に利用することで、多くの人に木材利用の重要性や木の良さ、さらには森林に対する理解を深めていただく公共施設となることも期待される。</p>
	計	1,772	1,772	0			